

会 議 録

| | | | | |
|--------------------|-----|---|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 第6期第6回相模原市緑区区民会議 | | |
| 事務局 (担当課) | | 緑区役所区政策課 電話042-775-8802 (直通) | | |
| 開催日時 | | 令和4年4月25日(月) 15時～16時30分 | | |
| 開催場所 | | 緑区合同庁舎4階 集団指導室 ※一部委員はオンライン参加 | | |
| 出席者 | 委員 | 20人(別紙のとおり) | | |
| | その他 | 0人 | | |
| | 事務局 | 16人(緑区長、緑区副区長、緑区役所区政策課長、他13人) | | |
| 公開の可否 | | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | |
| 会議次第 | | 1 開会 2 副市長あいさつ 3 議題 (1) 提言書(案)について 4 その他 5 閉会 | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は会長の発言 ○は委員の発言 ●は事務局の発言）

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行った。

2 副市長あいさつ

大川副市長よりあいさつがあった。

3 議題

(1) 提言書（案）について

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。
事務局から資料に基づき、説明を行った。

<意見交換>

○提言書（案）内にもあるが、大学との連携は重要であると考え。青山学院大学の学生ボランティアが、「青山学院大学シビックエンゲージメントセンター」として市と情報発信を行っている。

※青山学院大学シビックエンゲージメントセンター…2022年4月1日開設。前身はボランティアセンター。ボランティアから市民協働へと活動の幅を広げ、行政や企業、市民団体等との連携を行っている。

◎どのような経緯で連携に繋がったのか。

○森のイノベーションラボFUJINOで開催されたイベントがきっかけである。

○以前実施した狩猟体験ツアーにおいて、小菅村から獲れてすぐのジビエを食べたがとても美味しかった。ジビエの活用を検討するとなると相模原市内に保健所の認めた加工場があった方がよいのではないかと考える。

○提言書（案）内の「関心を惹起する」の「惹起」という言葉について、印象が良くないため、別の言葉を用いてはどうか。

●別の言葉を使用することについて、検討する。

○内容ひとつずつは素晴らしいが、逆にどこのエリアにも当てはまる内容と考える。緑区ならではのセールスポイントはどこになるのか明確にすべきと考えるがどうか。

●ご意見について検討する。

○建築・住まい政策課で移住に関して支援金の制度があるが、防災上のハザードにあたると対象とならないため、現状として中山間地域では、甲州街道沿いなどごく限られた地域しか対象とならない。

中山間地域振興にも結び付けてもらいたいですが、制度設計や実際の使い勝手はどうか。

●制度について確認する。

○提言書（案）内の東京都との広域連携についての記載の中で、都立高校への通学の記載があるが、制度として可能なのか。

○他自治体でも行われている。まちづくり会議等でも長年検討してきている事案である。

○提言書（案）内の地域の魅力を生かした観光振興の部分に小原宿、吉野宿とあるが、与瀬宿、関野宿を追記しても良いのではないか。

●追記について検討する。

◎位置関係はどうか

●甲州街道沿いの相模湖～藤野地域に3キロ程度。

○それに関連して、小原宿などの地域の歴史を発信・紹介するために、そこでのツアーガイドを育てる旨を追記できないか。

●追記について検討する。

○本提言は、今後何年くらいを視野に入れて策定するものか。どのくらいの時間軸なのか。

●緑区基本計画の期間が令和9年までとなっている。

○リニア中間駅の実証実験事業が7～10か月行われ、それなりの効果があったが、実際には移住者の声が伝わっていない感覚があり、今後において、移住者の肌感覚を共有してほしいと考える。

○国交省の補助を受けている相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会は足掛け7年目だが、観光協会の仕事ではなく、市が中心となり進めていくべきである。

○提言書（案）内に「相模原市全体がワンチームで検討」とあるが、市役所の全部署で検討ということによろしいか。

また、提言の3つの柱のうち、1つが現状の方たちに向けてで、残り2つが移住定住してくれる方たちへ向けた施策となると考えているが、様々な魅力が散らばりすぎている。

また、提言書（案）内の今後の展開の部分に「誰が主体となり行うかについて検討し」とあるが、主語を明らかにするべきであると考えているが、いかがか。

●整理して回答する。

○いつまでに、誰が行うのかの記載がないが、いかがか。

◎ロードマップが出てくるのではないか。また、市として行う部局はどこなのか、市の政策課と地域振興課が連携して行っていく認識で良いか。

●ロードマップについては検討する。また、中山間地域対策については政策課と地域振興課で連携して行っていく。

○今後の展開について、行政の主体、誰が主体かという書き方は、突き放しているように思われる。

◎担当部長を中心にでも良いのではないか。

●今後の展開の記載について、検討する。

4 その他

●次回会議は、令和4年5月30日（月）の開催を予定。

5 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

| 区 分 | 氏 名 | 所 属 団 体 等 | 出欠席 |
|---------|--------|---|-----|
| まちづくり会議 | 森 誠壽 | 橋本地区まちづくり会議 副代表 | 出席 |
| | 佐藤 金男 | 大沢地区まちづくり会議 代表 | 出席 |
| | 齋藤 信夫 | 城山地区まちづくり会議 代表 | 出席 |
| | 熊谷 弘 | 津久井地区まちづくり会議 代表 | 出席 |
| | ○長谷川 兌 | 相模湖地区まちづくり会議 代表 | 出席 |
| | 宮野善三郎 | 藤野地区まちづくり会議 代表 | 出席 |
| 関係団体 | 松井 光臣 | 相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会 会長 | 出席 |
| | 中里 浩章 | 相模原市立小中学校PTA連絡協議会 会長 | 出席 |
| | 原 正弘 | 相模原商工会議所 常議員 | 出席 |
| | 名久井孝昭 | 津久井地域商工会連絡協議会 会員 | 出席 |
| | 吉野 賢治 | 一般社団法人相模原市観光協会 副代表理事 | 欠席 |
| | 梅津 賢一 | 公益社団法人相模原青年会議所 専務理事 | 出席 |
| | 山崎 勇貴 | 公益社団法人津久井青年会議所 理事長 | 出席 |
| | 佐藤 鉄郎 | 相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長 | 出席 |
| | 星 和美 | 特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事長 | 出席 |
| 学識経験者 | ◎牧瀬 稔 | 関東学院大学法学部 准教授 | 出席 |
| | 池田 寛二 | 法政大学多摩地域交流センター長 (法政大学社会学部 教授) | 出席 |
| | 深谷 信介 | 東京大学大学院都市デザイン研究室 (ノートルダム清心女子大学人間生活学部 教授) | 出席 |
| 区民 | 吉良奈美乃 | 公募委員 | 出席 |
| | 鈴木 千景 | 公募委員 | 欠席 |
| | 森本 誠一 | 公募委員 | 欠席 |
| 民間事業者 | 山本 篤史 | 株式会社KADOKAWA 生活実用第4編集課副編集長 | 出席 |
| | 早川 優 | 相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長 | 出席 |
| | 佐藤 賢策 | 東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長 | 欠席 |
| | 中原 正貴 | 神奈川つくい農業協同組合 經濟部 営農経済課長 | 欠席 |

◎は会長、○は副会長